

科目名	人文社会科学総合
科目名 (英語)	Introduction to Humanities and Social Sciences
曜日・講時	後期 金曜日 3講時
単位数	2
担当教員	三浦 知志
セメスター	4
科目ナンバリング	LHM-OHS204J
使用言語	日本語

授業題目	現代のマンガとアニメーション
授業題目 (英語)	Contemporary Comics and Animations
授業の 目的と概要	<p>近年、国内外を問わず様々な交流において、マンガやアニメーションがコミュニケーションの主題となることが多いですが、そのとき実質的な議論を展開できるためには、当然のことながら、作品そのものの特性を説得的に語れなくてはならないでしょう。</p> <p>この授業では、毎回マンガやアニメーションを紹介し、その作品についての概略的な知識を説明しつつ、作品について自由に議論する場を設けます。日本だけでなく海外にも目を配り、マンガとアニメーションを様々な視点で捉える授業としたいと思います。</p> <p>また授業中、扱われた作品についての小レポートを参加者に求めます。レポートの内容を次の授業時に提示することで、作品に対する参加者の様々な見方を共有するつもりです。</p>
学習の 到達目標	現代のマンガとアニメーションについて、作品のなかに見られる表現の具体的なあり方を言語化し、その作品の意義や他の作品との関わりについて説明することができる。
授業内容・ 目的・方法	<ol style="list-style-type: none"> この授業についての説明、およびマンガ史概略 マンガの青年化:手塚治虫と劇画(辰巳ヨシヒロ『TATSUMI』) 自伝・エッセイ:日本の場合(東村アキコ『かくかくしかじか』) 自伝・エッセイ:海外の場合(アリソン・ベクダル『ファン・ホーム』) 語り手が語る世界に入り込む(今敏『千年女優』) 戦争と向きあう(こうの史代『この世界の片隅に』) マンガのなかの手紙(福満いげゆき『僕の小規模な失敗』) 期末レポートの説明、およびアニメーション史概略(ウォルト・ディズニー『白雪姫』) ロスコープと映像美(岩井俊二『花とアリス殺人事件』) 風景美と物語(新海誠『君の名は。』) 料理マンガの歴史(土山いげる『極道めし』) バンド・デシネと日本(谷口シロー『千年の翼、百年の夢』) アメリカン・コミックスと日本(チャールズ・シュルツ『ピーナッツ』) 言葉の力(湯浅政明『四畳半神話大系』) 総括、あるいは予備日
成績評価 方法	授業での議論への参加(小レポート含む)50%、期末レポート50%。
教科書 および 参考書	随時指示します。
授業時間外 学習	授業中に作品のすべてを読む／見ることは時間の都合上困難ですので、シラバスに記載されている作品に(変更の可能性もありますが)あらかじめ目を通しておくとよいでしょう。前もって自分なりの作品への関心を持っておけば、授業中の小レポートも書きやすくなるはずです。
その他	